

2018年4月11日

## 音の基本性能をさらに高め、HDR\*/4K 映像伝送や Bluetooth®にも対応した 5.1ch AV レシーバー ヤマハ AV レシーバー 『RX-V385』

ヤマハ株式会社は、384kHz/32bit D/A コンバーターの採用などにより定評ある音の基本性能をさらに高めるとともに、HDR/4K 映像伝送や Bluetooth®オーディオ送受信にも対応した 5.1ch AV レシーバー『RX-V385』を4月下旬より全国で発売いたします。

\*:HDR(ハイダイナミックレンジ)映像伝送=従来よりも幅広い明暗のダイナミックレンジを持つ映像信号の伝送を可能にする技術。

### <価格と発売時期>

品名	モデル名	色	本体価格	当初月産予定台数	発売時期
AVレシーバー	RX-V385	(B)ブラック	48,000円(税抜)	11,500台	4月下旬

### <製品概要>

今回発売する『RX-V385』は、音の基本性能をさらに高める 2ch ステレオ仕様の 384kHz/32bit D/A コンバーターを搭載した D/A セクション、フロントパイアンプ\*1 対応パワーアンプ、ピュアオーディオ再生に適したダイレクトモードなどを新たに装備した 5.1ch AV レシーバーです。ベーシックモデルでありながら、Dolby Vision™\*2 や Hybrid Log-Gamma\*3 などの HDR 映像伝送、BT.2020\*4 規格、HDCP2.2\*5(全入出力)、4K/60p\*6 映像信号、eARC\*7 に対応した 4 入力/1 出力の HDMI 端子を装備し、最新の 4K 映像ソースも画質を損なうことなく再生できます。さらに、臨場感あふれるシアター空間を創出する独自の音場創生技術「シネマ DSP」、お使いになる部屋の音響特性に合わせて音場・音質を自動調整する視聴環境最適化システム「YPAO」、便利な Bluetooth®オーディオ送受信機能など、オーディオ&シアターライフの質を高める装備も充実させました。

\*1:フロントパイアンプ=メイン(フロント)用とサラウンド用の2組のパワーアンプで1組のメイン(フロント)スピーカーを駆動する接続方式。\*2:Dolby Vision™(ドルビービジョン)=ドルビーラボラトリーズ社が開発した HDR 技術。\*3:Hybrid Log-Gamma(ハイブリッドログガンマ)=NHK と英国 BBC が共同提案する HDR 方式。\*4:BT.2020=ITU-R 勧告に定められた Ultra HDTV(4K/8K)の色域規格。\*5:HDCP2.2=4K 映像伝送に対応した最新のデジタル著作権保護技術。\*6:4K/60p= 4K(4,096×2,160 画素)の解像度を持つ映像を、1 秒間に 60 コマで表示すること。\*7:eARC=テレビと本機とを 1 本の HDMI ケーブルで接続し、テレビに入力されたロスレス音声やオブジェクトオーディオを含むテレビ側音声を本機へ伝送できる機能。※ファームウェア更新により対応予定。

### 【主な特長】

- 2ch ステレオ仕様の 384kHz/32bit D/A コンバーター、フロントパイアンプ対応パワーアンプなどにより高音質を追求
- HDR、BT.2020、HDCP2.2、4K/60p パススルー & 4K アップスケーリングに対応した 4 入力/1 出力の HDMI 端子
- 臨場感あふれるシアター空間を創出する「シネマ DSP」と、設置環境を選ばない充実のバーチャルサラウンド機能
- ワイヤレス音楽再生を手軽に楽しめる Bluetooth®オーディオ送受信機能と、音を豊かにするミュージックエンハンサー

## <主な特長>

### 1. 2ch ステレオ仕様の 384kHz/32bit D/A コンバーター、フロントバイアンプ対応 パワーアンプなどにより高音質を追求

ヤマハ HiFi プリメインアンプや AV レシーバーの上位機種にも使用される 2ch ステレオ仕様のバーブラウン 384kHz/32bit\*D/A コンバーターを3基搭載したほか、ブロックケミコンをはじめとするパーツの再選定、上位機種と同等のプリント基板パターンや電源構成の採用などにより、音の基本性能を妥協なく追求しました。また内蔵の 5ch パワーアンプは、2.0ch~3.1ch スピーカー接続時にさらなる音質向上が期待できるフロントバイアンプ接続に、このクラスとして初めて対応しています。さらに、サラウンドプロセッサーやトーンコントロールをバイパスして音声信号の経路を最短化し、ピュアオーディオソースなどをより高純度な音質で再生するダイレクトモードも新たに装備しました。

\*:本機で再生可能なファイルフォーマットは最大 192kHz/24bit です。

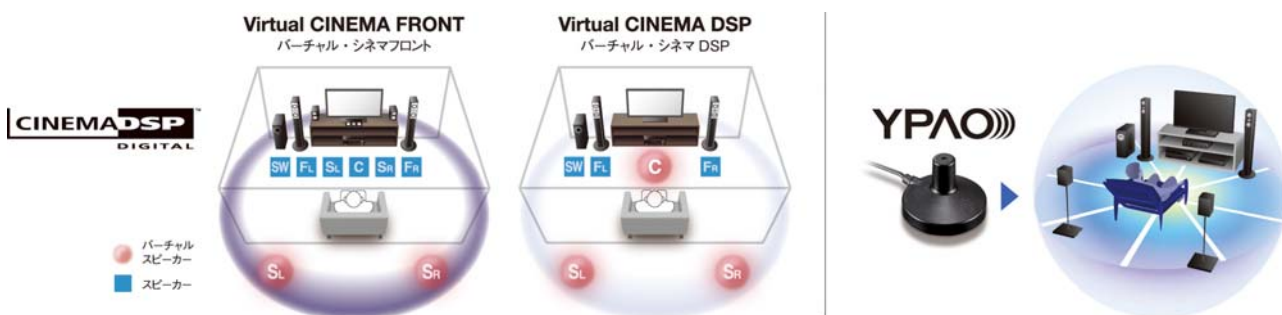
### 2. HDR、BT.2020、HDCP2.2、4K/60p パススルー & 4K アップ スケーリングに対応した 4 入力/1 出力の HDMI 端子

HDR 映像伝送や BT.2020 映像伝送、HDCP2.2、4K/60p 4:4:4 映像信号のパススルー/4K アップスケーリングに対応する 4 入力/1 出力の HDMI 端子を装備しました。映像の色域とダイナミックレンジを大幅に拡大して華やかな色彩や豊かなディテールを再現する高画質化技術「Dolby Vision™」や、放送局が推奨する HDR 方式「Hybrid Log-Gamma」にも全端子で対応し、Ultra HD Blu-ray プレーヤーなど複数の対応機器を接続して画質を損なうことなく楽しめます。



### 3. 臨場感あふれるシアター空間を創出する「シネマ DSP」と、設置環境を選ばない 充実のバーチャルサラウンド機能

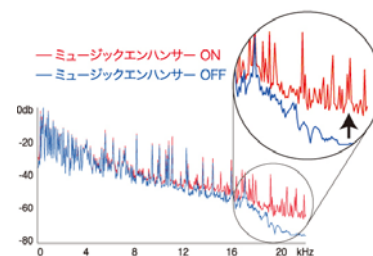
独自の音場創生技術「シネマ DSP」を活かした臨場感あふれるシアター空間の創出は、ヤマハ AV レシーバーならではの大きな特長です。本機には映画や音楽、テレビ放送、ゲームなどさまざまなソースに合わせて最適化した 17 種類の多彩なサラウンドプログラムを装備しました。サラウンドスピーカーを後方に設置する通常の 5.1ch スピーカー構成はもちろん、サラウンドスピーカーを含む 5.1ch スピーカーすべてをフロント側に設置して 5.1ch サラウンドが楽しめるバーチャルシネマフロント、サラウンドスピーカーを使用しない 2.0ch~3.1ch スピーカー構成で豊かな臨場感が得られるバーチャルシネマ DSP も搭載し、後方にスピーカーが設置できない環境でも本格的なホームシアターを実現します。さらに、お使いになる部屋の音響特性に合わせて音場・音質を自動調整する視聴環境最適化システム「YPAO」(Yamaha Parametric Room Acoustic Optimizer)も装備しています。



#### 4. ワイヤレス音楽再生を手軽に楽しめる Bluetooth®オーディオ送受信機能と、音を豊かにするミュージックエンハンサー



スマートフォンやタブレットなどの音声を本機でワイヤレス再生(受信)したり、本機の音声を Bluetooth®対応ヘッドホンやスピーカーなどで聴ける(送信)、Bluetooth®オーディオ送受信機能を搭載しました。ヤマハ独自の Bluetooth®対応ミュージックエンハンサー\*と組み合わせれば、Bluetooth®の圧縮音声をより魅力的なサウンドで蘇らせます。



ミュージックエンハンサーの効果(概念図)

\*:ミュージックエンハンサーは Bluetooth®送信時には作動しません。

**【RX-V385 その他の特長・機能】**●フロント USB&アナログ音声入力端子●メインスピーカーにコンパクトスピーカーを使用する場合やサブウーファーなしのシステムでも力強く躍動感のある低音を再現する Extra Bass (エクストラベース)●再生音量に応じて DSP 効果を自動調整し、常に最適な臨場感が得られる A-DSP 技術●入力ソースやボリューム位置に合わせてダイナミックレンジを自動調整し、小音量再生時にも明瞭なサウンドが楽しめる A-DRC 技術●40 局プリセット対応ワイド FM/AM チューナー●よく使う映像ソースや音場プログラムの組み合わせを呼び出したり、テレビやレコーダーを連動して起動できる SCENE ボタン●テレビと本機とを 1 本の HDMI ケーブルで接続し、テレビに入力されたロスレス音声やオブジェクトオーディオ (Dolby True HD、DTS-HD Master Audio 対応) を含むテレビ側音声を本機へ伝送できる eARC (エンハンスト・オーディオリターンチャンネル) ※ファームウェア更新により対応予定●HDMI 接続した他社製テレビ/レコーダーとの連動を実現するリンク機能 (対応テレビ機種などの詳細は当社製品サイトでご確認ください)●ECO モード、オートスタンバイ機能などにより業界最高水準の省電力を実現

#### <RX-V385 主な仕様>

型番		RX-V385
定格出力	20Hz-20kHz、2ch 駆動	70W/ch (6Ω、0.09%THD)
	1kHz、1ch 駆動	100W/ch (6Ω、0.9%THD)
実用最大出力 (JEITA)	1kHz、1ch 駆動	135W/ch (6Ω、10%THD)
内蔵パワーアンプ数		5
音声入力端子	アナログ	3 系統:ステレオ RCA 2、ステレオミニ 1
	デジタル	3 系統:光 1、同軸 2
音声入力端子(その他)		1 系統:USB 1
映像入力端子		3 系統:コンポジット 3
音声出力端子	スピーカー出力	5ch (フロント L/R、センター、サラウンド L/R [Bi-AMP 兼用])
	PRE OUT	サブウーファー (MONO) × 1
	その他	1 系統:ヘッドホン 1
モニター出力端子	MONITOR OUT	1 系統:コンポジット 1
HDMI 端子 入力/出力		4 入力/1 出力 (HDCP2.2 対応)
HDMI バススルー		4K/60p (YCbCr=4:4:4)、HDR (10bit/12bit)、Dolby Vision、Hybrid Log-Gamma、BT.2020
シネマ DSP サラウンドプログラム数		17
Bluetooth®再生方式	バージョン	Ver.2.1+EDR
	対応プロファイル	送受信時:A2DP
	対応コーデック	送受信時:SBC
USB 関連対応音声フォーマット		MPEG4-AAC/WAV/MP3/WMA (48kHz/16bit まで対応)
チューナー		AM/FM (ワイド FM 対応)
消費電力		260W
待機時消費電力		0.2W (HDMI コントロール OFF/スタンバイスルーOFF 時)
		1.2W (Bluetooth®スタンバイ ON 時/スタンバイスルーON 時)
寸法 (幅×高さ×奥行)		435W×161H×315Dmm
質量		7.7kg
付属品		リモコン、単 4 乾電池 (2 本)、AM アンテナ、FM アンテナ、YPAO 用マイク、取扱説明書、スタートアップガイド



ヤマハ AV レシーバー 『RX-V385』 カラー:(B)ブラック

本体価格 48,000 円(税抜)

詳細についてはこちらをご覧ください。

【製品情報】 [https://jp.yamaha.com/products/audio\\_visual/av\\_receivers\\_amps/rx-v385/index.html](https://jp.yamaha.com/products/audio_visual/av_receivers_amps/rx-v385/index.html)

※文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

この件に関するお問い合わせ先

## ヤマハ株式会社

### ■報道関係の方のお問い合わせ先

コーポレート・コミュニケーション部 メディアリレーショングループ

佐藤、千葉

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト [https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/)  
(取材申し込みや画像ダウンロードが可能です。)

### ■一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン カスタマーサポート部

お客様コミュニケーションセンター

オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

TEL 0570-011-808 (ナビダイヤル:全国どこからでも市内通話料金)

TEL 053-460-3409 (上記番号でつながらない場合)